

ループリック

漢字書法Ⅰ（行書） 必修（専門科目） 1年生前期

到達目標	- 前半は「蘭亭序」によって王羲之の行書の基礎を理解する。後半は「風信帖」やその他のいくつかの作品によって空海の行書の基礎を理解する。 - 作品の文章内容や歴史的背景、作者の思想も理解しながら、作品全体の芸術的価値を深く鑑賞する。 - 臨書で培った技法を使って、さらに創作作品に行書を応用できる力を育成する。
------	--

	内容 項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル4
1	知識・理解				
	「蘭亭序」の内容と歴史的背景	「蘭亭序」の内容と王羲之に関する歴史的背景を十分に理解している。	「蘭亭序」の文章内容はよく理解したが、背景にある東アジア史はまだ充分理解していない。	「蘭亭序」の漢文の内容理解が不十分で、王羲之の生涯や歴史的背景も充分ではない。	漢文解読や歴史的な事項には興味を持たず、作品の内容や背景をほとんど理解していない。
	空海の人と作品	空海の宗教家としての波乱万丈の偉大な生涯と、彼の書作品の内容・思想を十分に理解している。	空海の事跡や作品の知識面の理解は深いが、思想面への理解は浅い。	空海の事績や作品・思想など、全体的に知識・理解が充分とは言えない。	歴史的知識が極めて乏しく、空海について、書道以外の事項への関心はほとんどない。
2	技能・表現力				
	王羲之と空海の行書技法	「蘭亭序」と空海の筆法と結構法を十分に理解した上で、個性も加えた魅力的な臨書ができる。	「蘭亭序」と空海の筆法と結構法を正しく理解し、臨書できる。	「蘭亭序」と空海の行書の筆法は表現できるが、結構法理解が不十分で、形が整わない。	王羲之と空海の行書技法の理解が不十分で、作品に表現することができない。
	行書の創作	古典を学んで得た行書の技法を活用し、個性を加えた魅力的な創作作品に自由自在に表現できる。	臨書で身に付けた技法を使って創作することに積極的に取り組むが、完成度はまだ高くない。	臨書で身に付けた技法を使って創作することに慣れていないので、制作はするが完成度は低い。	臨書で身に付けた技法を使った創作は好まず、作品も制作できない。
3	態度・志向性				
	授業内参加	欠席や遅刻がなく熱心に授業に参加し、話をよく聞き、揮毫し、意見を述べる。	授業に熱心に取り組んでいる。わずかに欠席や遅刻がある。	揮毫に関しては比較的きちんとできるが、知識面では熱心でなく、欠席や遅刻もややある。	欠席や遅刻がたいへん多く、授業へのやる気も感じられない。
	課題提出ふりかえり	授業作品や、「蘭亭序」の全臨課題を、期限までに、ほぼ完璧な形式で提出している。	授業作品や「蘭亭序」の課題は期限までには出せたが、完成度は充分ではない。	授業作品が終了時までに提出できず、「蘭亭序」の全臨課題が期限に間に合わない。	授業作品を提出しないことがあったり、「蘭亭序」の全臨課題を提出できない。